

令和2年度 事業報告

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

I. 活動の概況

令和2年度は新型コロナウイルス感染症が世界的に猛威を振るい、各国で人や物の交流が制限された結果、世界経済が急速に減速した年となりました。国内では緊急事態宣言の発令や外出自粛、時短要請など感染拡大防止に向けた様々な取り組みを展開し、感染症の抑制に成果を上げてきた反面、暮らしや経済は大きな打撃を受けました。本会においても、支部研修会や委員会活動、講演会等すべての活動に多大な影響を受け、計画通りの事業活動ができなかった1年でした。しかしながら、こうした状況下にあっても、長年取り組んでいる「租税教室」は、コロナ拡大による一斉休校の影響および感染拡大回避のため、担当する小学校のうち5校は中止となったものの、残る23校では関係各位の協力を得ながら例年通りに開催することができました。また、今年で12回目を迎えた「税の絵はがきコンクール」についても、呉市内全小学校から作品を応募して頂きました。税制改正に関する活動においては、地元選出の代議士や呉市長等に対して要望提言を行いました。

福利厚生事業では、令和3年度が経営者大型総合保障制度創設50周年を迎えることから、創設キャンペーン(想いをつないで50年「会員企業を守りたい」)運動を、コロナ禍の中で厚生委員および各支部が協力3社と連携し、積極的な推進を行いました。加えて、組織基盤の柱である会員増強運動についても、関係友誼団体、地元金融機関の協力により、12月末において加入率1.53ポイント増加となり、一定の成果を収めることができました。

II. 主な活動

1 税を巡る諸環境の整備改善等を図る事業

(1) 税制改正への活動

例年通り税制委員・親会及び部会役員を対象にアンケートを実施し、その結果を踏まえて「呉法人会税制改正要望事項」を取りまとめ5月に全法連に提出しました。

また、11月には全法連作成の「令和3年度税制改正に関する提言」を 寺田 衆議院議員、新原 呉市長、森本 呉市議会議長に持参して説明し税制改正の要望提言活動を実施しました。

(2) 税の啓発活動、租税教育活動

平成13年度より取り組んでいる「租税教室」は、今年度で20年目を迎えました。担当する28校のうち5校の小学校ではコロナの影響で中止となりましたが、23校の6年生児童1,137名を対象に開催しました。なお、開催した23校には「租税教室感想文集」を作成して配付し、「卒業お祝い品」としてシャープペンシルを28校の全卒業児童に贈りました。

12回目となった女性部会主催の「令和2年度 税の絵はがきコンクール」は、6年連続で呉市内全ての小学校(35校)から1,688名の児童から応募があり、厳正な審査のうえ選出した佳作以上の629点を広まちづくりセンターと呉市役所に、優秀賞・特別賞を合わせた53点をゆめタウン呉に展示しました。また、呉税務署長賞以下、入選作品までの149名に賞状と記念品を贈呈しました。

(3) 研修活動の充実

親会・委員会・部会・支部合同ともにコロナ感染防止に配慮し、例年通りの活動ができませんでした。

人との接触を避け3密を回避するという観点から、研修会や講演会の開催を自粛した結果、今年度は支部研修会が1回のみになりました。

また、通常総会に合わせた特別講演会と2月に開催予定であった「新春特別講演会」も中止しました。

(4) 税に関する広報活動

会報誌「灰ヶ峰」に呉市等の協力を得て広告・宣伝を織り交ぜ、より親しみ易くするとともに、税法・税務に関する記事や税制改正の提言内容を掲載して165号から167号までを全法連の機関紙「ほうじん」と併せて会員に送付し、会報誌「灰ヶ峰」を税務関係友誼団体・地元金融機関窓口及び小学校・一部の市民センターにも配付しました。

2 地域経済社会環境の整備改善等を図る事業

今年度はコロナウイルス感染症対策のため、研修会や講演会を中止せざるをえず、中央支部によるセミナー開催のみに留まりました。

3 会員のための親睦・交流、福利厚生に関する事業

(1)組織の強化・充実

9月から12月にかけて実施した会員増強活動では、呉税務署、中国税理士会呉支部、福利厚生制度取扱会社及び地元金融機関のご協力のもと、役員、支部長、支部役員、青年部会、女性部会が一丸となって推進した結果、53社の新入会員を獲得することができ、令和3年3月末現在の会員数は2,590社(個人賛助会員111名)となり、加入率は62.48%となりました。

(2)広報活動の充実

日頃から法人会のイメージアップ、活動内容の周知、知名度の向上に努め会報の内容の充実を図りました。また、研修会・租税教室等の案内・予定をホームページに掲載すると共に、会員増強月間には法人会のイメージアップ・知名度の向上のため、役員の実業所にポスターを掲示しました。

(3)青年・女性・調査課部会の充実

イ 青年部会 部会員数 70名

青年部会は時代を担う経営者としての資質向上を目的に研修会・交流会等の活動を多数計画しておりましたが、コロナ禍のためほぼ中止となりました。しかしながら、青連協で次期の活動の柱のひとつとなる「財政健全化のための健康経営プロジェクト」を推進していくこととなり、それを受けて呉法人会青年部会では本プロジェクトの施策のひとつである「法人会版健康経営宣言書」の提出を部会員はもとより、親会においても周知に努めました。

ロ 女性部会 部会員数 44名

女性部会は、魅力ある女性部会をめざし、研修会等を企画しておりましたが、中止となり、今年度で12回を迎えた「税の絵はがきコンクール」のみの実施となりました。今年度も呉市内すべての小学校35校1,688名の児童から応募を頂きました。厳正な審査の結果、呉税務署長賞をはじめ149点の作品を表彰対象に選出しましたが、毎年実施している表彰式は中止となり、作品展のみを開催しました。

ハ 調査課部会 部会員数 23名

調査課部会は部会の定める目的に従い、実務担当者・経営者を対象とした研修会の開催を予定していましたが、すべて中止となりました。研修会は開催できませんでしたが、参考図書として書籍「会社役員のための確定申告実務ポイント」と「コロナ禍を生き抜く 税務&金融&給付金ガイド」の2冊を部会員に配付し、知識向上に努めました。

(4)法人会会員の福利厚生の向上事業

福利厚生制度推進については訪問活動が困難な状況の下、「1社でも多くの会員企業を守りたい」という制度創設時の理念に基づき、厚生委員会において「紹介キャンペーン」や「創設プレキャンペーン」を軸に福利厚生制度受託3社と連携し、厚生委員のみでなく各役員の方の皆さんの協力も得ながら効率的な推進を行いました。